

投資信託の共通 K P I

投資信託の共通 K P I につきまして、2018年3月末を基準とした状況を報告いたします。
福井銀行では、「地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」のため、
お客さま本位の資産形成に全員で取り組むとともに、コンサルティング機能の強化に努めています。

「投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I（以下、共通 K P I）」につきまして、
2018年3月末を基準とした以下の3指標を報告いたします。
また、2018年9月末基準の共通 K P I についても併せて報告いたします。

○運用損益別お客さま比率

- 投資信託を保有しているお客さまにつきまして、基準日時点の保有投資信託にかかる購入時以降の
累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別に比率を示したものです。

○投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

- 設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄ごとのコストとリターンの関係を示した指標です。

○投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

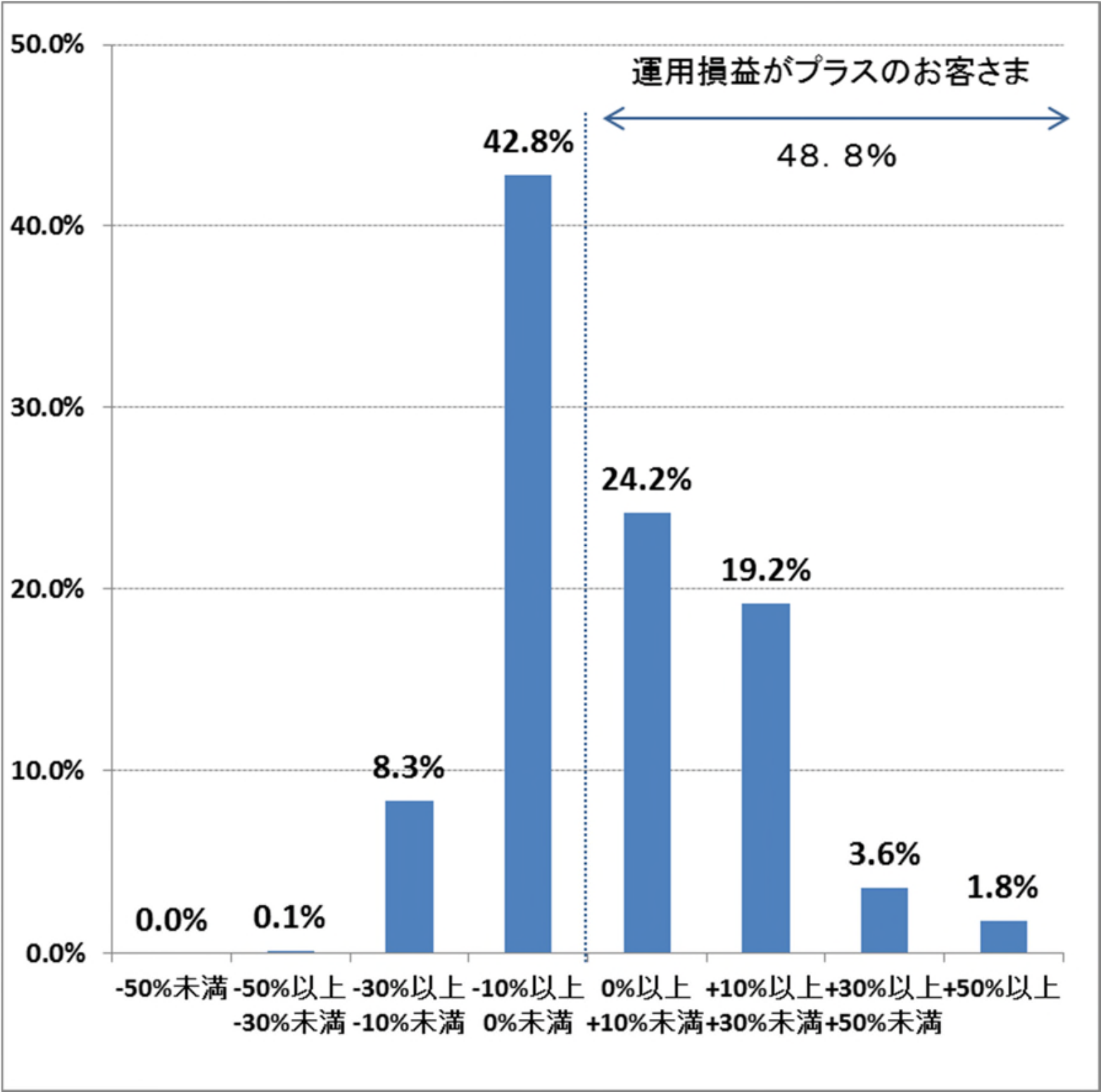
- 設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄ごとのリスクとリターンの関係を示した指標です。

投資信託の共通 K P I

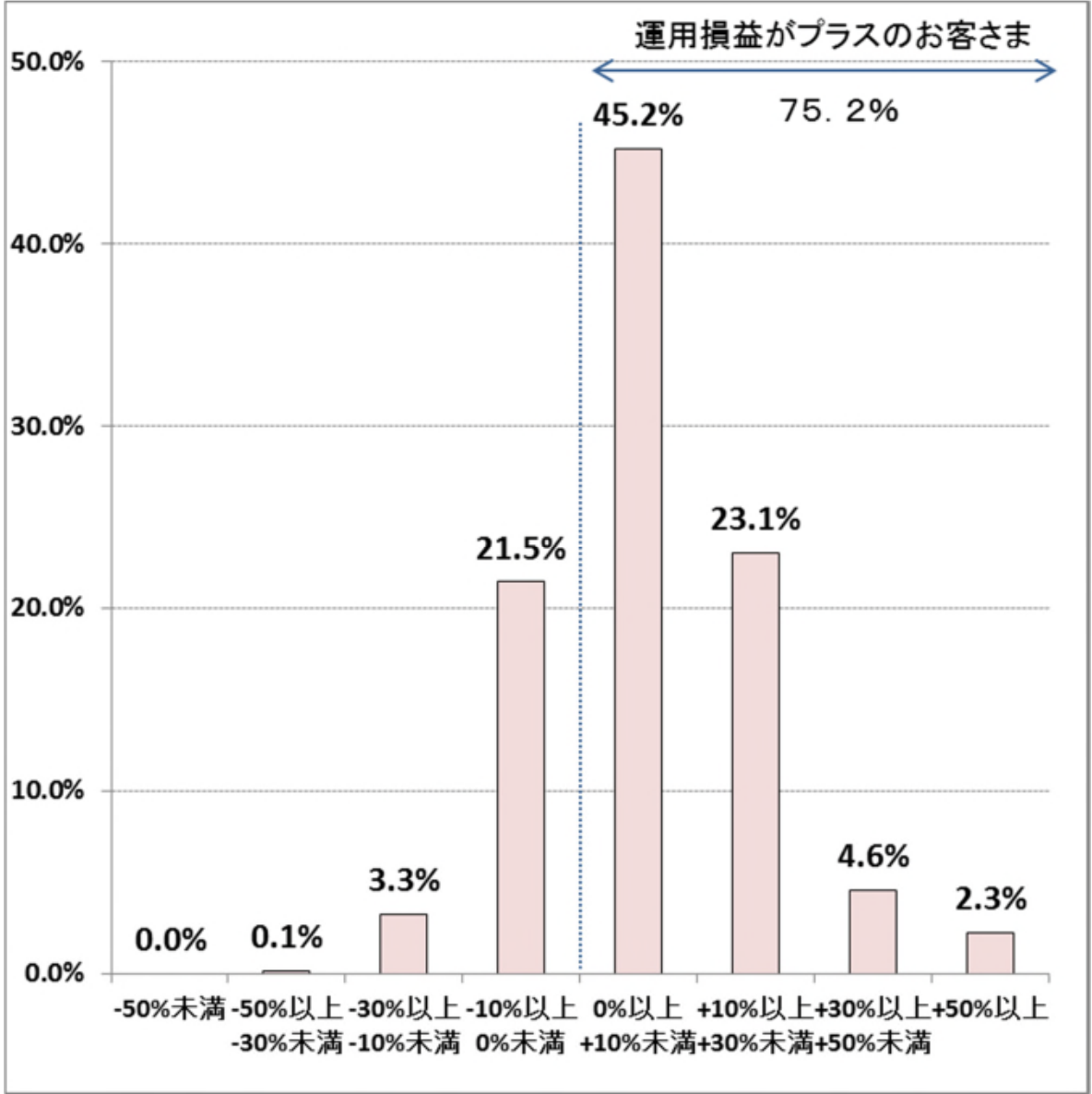
投資信託の共通 K P I につきまして、2018年3月末を基準とした状況を報告いたします。
福井銀行では、「地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」のため、
お客さま本位の資産形成に全員で取り組むとともに、コンサルティング機能の強化に努めています。

運用損益別お客さま比率

【2018年3月末基準】



【2018年9月末基準】



福井銀行では、継続して投資信託の長期積立投資提案によるお客さまの資産形成に取り組んでおり、投資信託を保有されているお客さまの数が増加しています。そうした中、2018年3月末と比較して、9月末はマーケット環境が好転したことから投資信託の基準価格が上昇したこともあり、保有されている投資信託の運用損益率がプラスとなったお客さまの割合が増加しました。

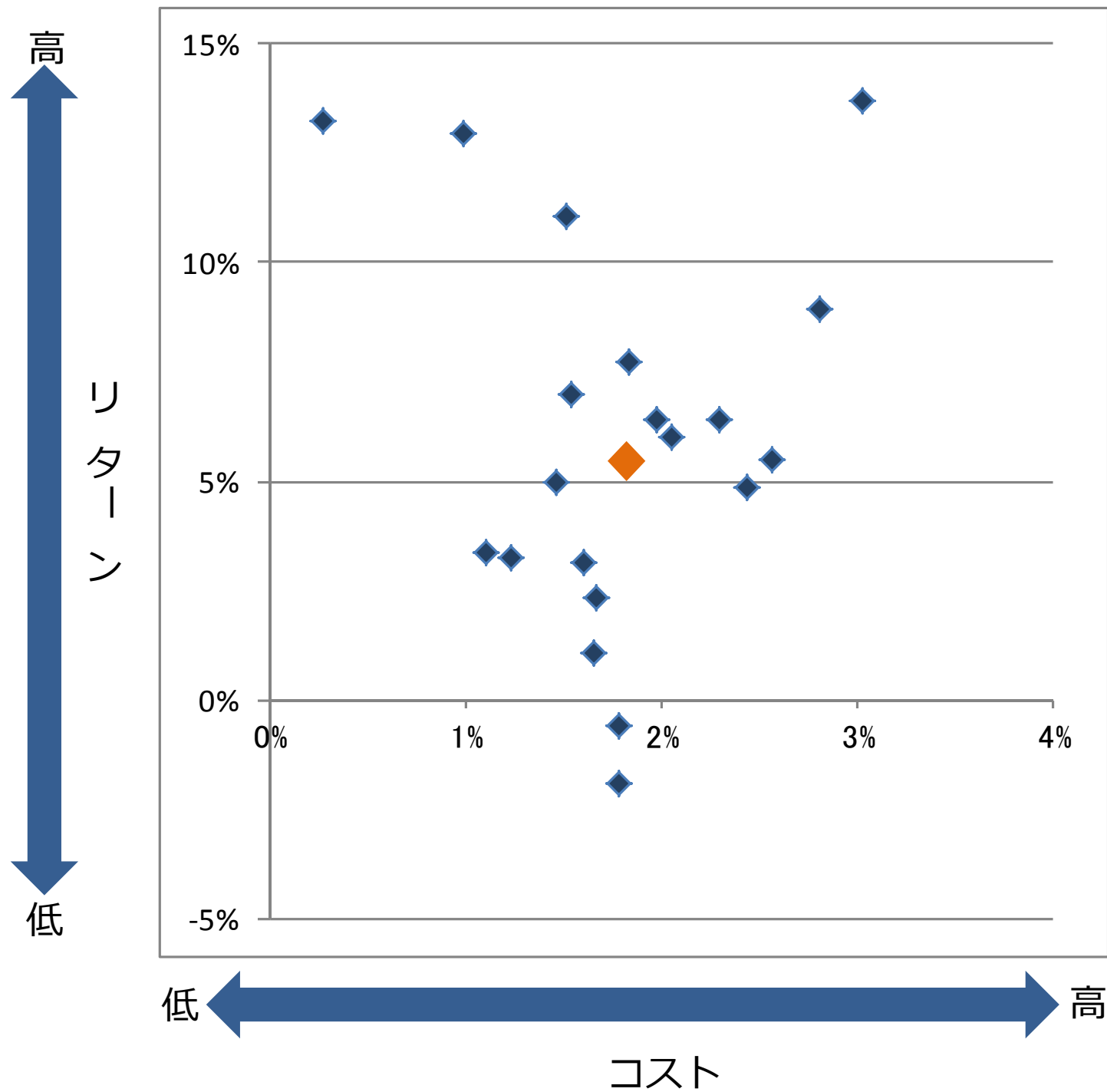
※数値は過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません。

投資信託の共通 K P I

投資信託の共通 K P I につきまして、2018年3月末を基準とした状況を報告いたします。
福井銀行では、「地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」のため、
お客さま本位の資産形成に全員で取り組むとともに、コンサルティング機能の強化に努めています。

預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

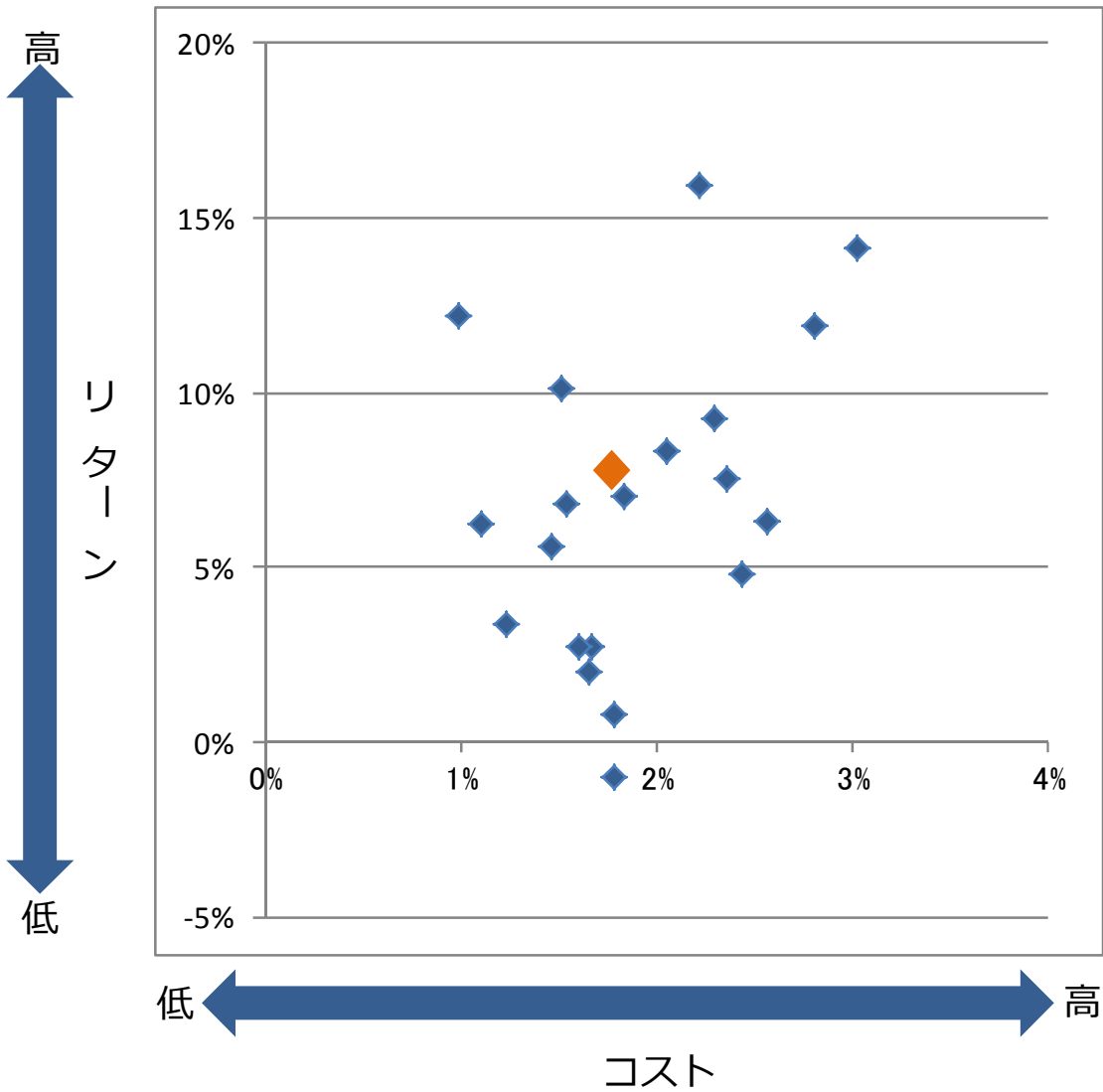
【2018年3月末基準】



残高加重平均値 ◆	コスト	リターン
	1.9	5.8

※数値は過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません。

【2018年9月末基準】



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.8	7.2

- ・リターン: 過去5年間のトータルリターン(年率換算)
- ・コスト: 販売手数料率1/5 + 信託報酬率

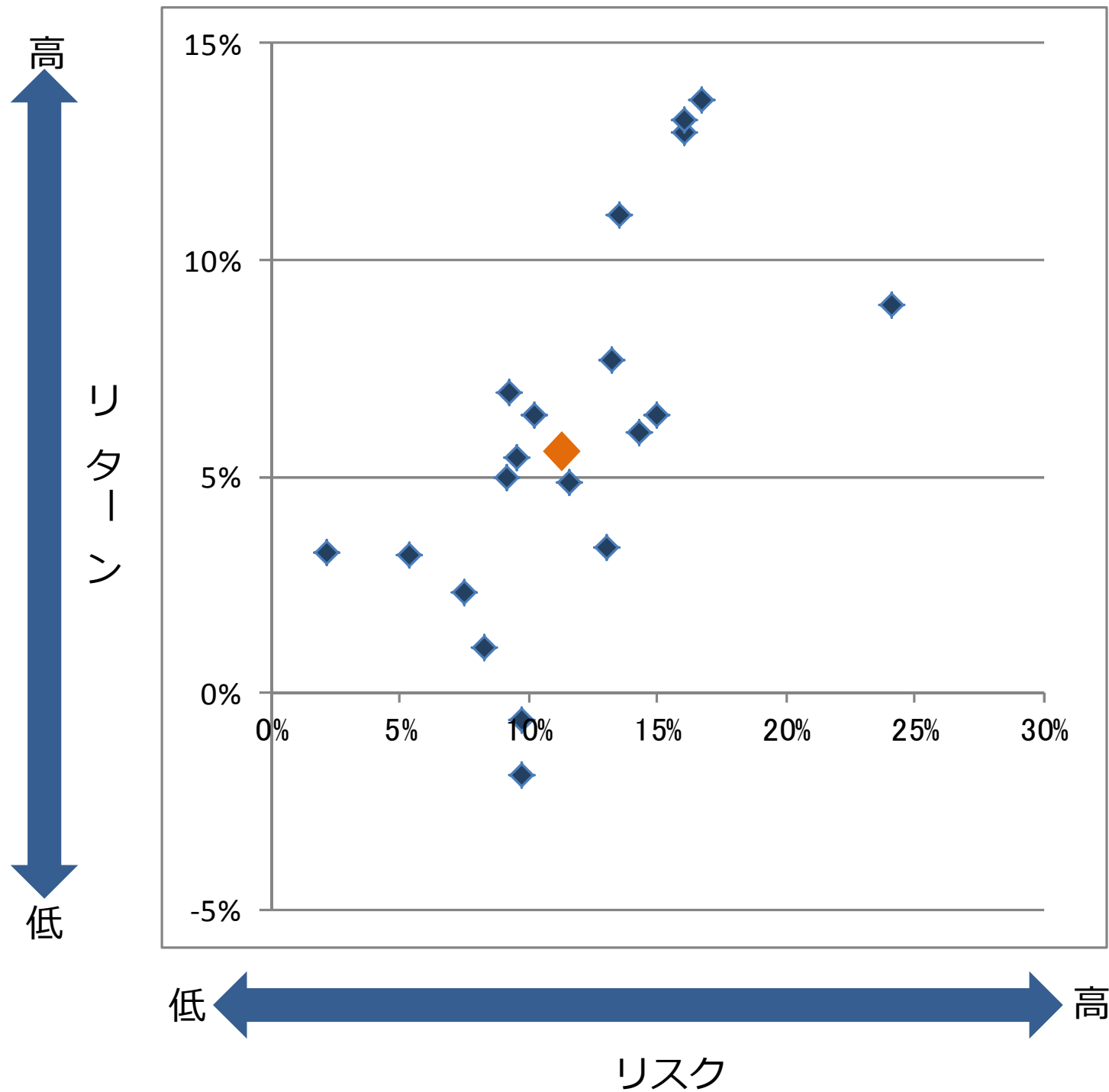
2018年3月末と比較して、9月末預り残高上位20銘柄のコストに対するリターンは良化しました。

投資信託の共通 K P I

投資信託の共通 K P I につきまして、2018年3月末を基準とした状況を報告いたします。
福井銀行では、「地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」のため、
お客さま本位の資産形成に全員で取り組むとともに、コンサルティング機能の強化に努めています。

預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

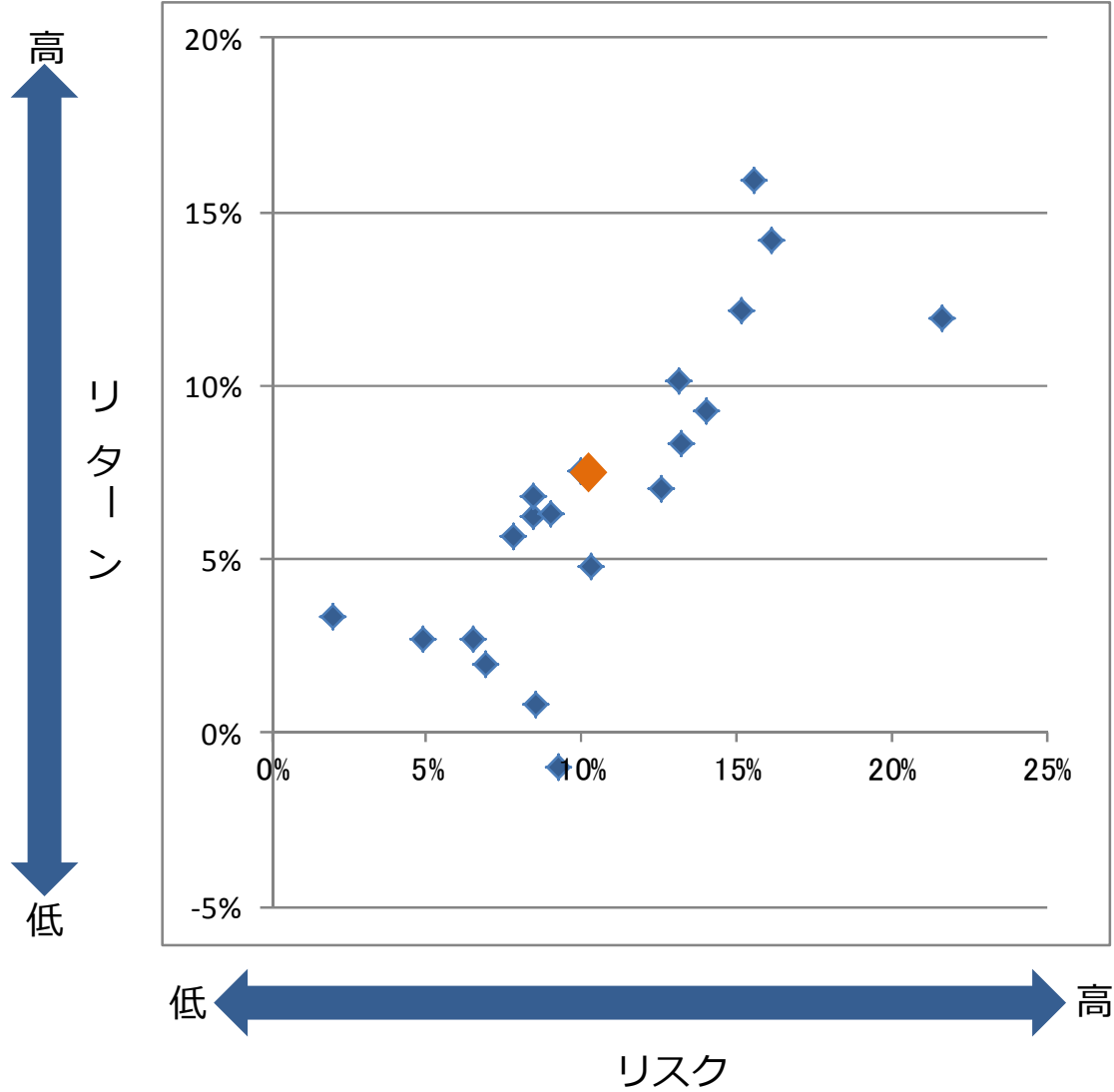
【2018年3月末基準】



残高加重平均値 ◆	リスク	リターン
	12.2	5.8

※数値は過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません。

【2018年9月末基準】



残高加重平均値	リスク	リターン
	10.5	7.2

- ・リターン: 過去5年間のトータルリターン(年率換算)
- ・リスク: 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

2018年3月末と比較して、9月末預り残高上位20銘柄のリスクに対するリターンは良化しました。

投資信託の共通 K P I

投資信託の共通 K P I につきまして、2018年3月末を基準とした状況を報告いたします。
福井銀行では、「地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」のため、
お客さま本位の資産形成に全員で取り組むとともに、コンサルティング機能の強化に努めています。

預り残高上位20銘柄

【2018年3月末基準】

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	新光 U S - R E I T オープン	2.3	15.0	6.4
2	ダイワ J - R E I T オープン (毎月分配型)	1.1	13.1	3.4
3	東京海上・円資産バランスファンド (毎月決算型)	1.2	2.2	3.2
4	高金利先進国債券オープン (毎月分配型)	1.7	8.3	1.1
5	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.0	16.7	13.7
6	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	1.7	7.5	2.3
7	インデックスファンド 2 2 5	1.0	16.0	13.0
8	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型)	2.4	11.6	4.8
9	ラサール・グローバル R E I T ファンド (毎月分配型)	2.1	14.3	6.0
10	財産 3 分法ファンド (不動産・債券・株式) 毎月分配型	1.5	9.2	5.0
11	日本好配当利回り株オープン (3 カ月決算型)	1.5	13.6	11.1
12	H S B C インドオープン	2.8	24.1	8.9
13	三井住友・米国ハイ・イールド債券ファンド (為替ノーヘッジ型)	2.6	9.6	5.5
14	ダイワ高格付カナダドル債オープン (毎月分配型)	1.8	9.8	-1.9
15	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン (毎月分配型)	1.8	9.7	-0.6
16	D I A M 世界好配当株オープン (毎月決算コース)	1.8	13.3	7.7
17	トレンド・アロケーション・オープン	1.6	5.3	3.2
18	マイストーリー分配型 (年 6 回) B コース (為替ヘッジなし)	2.0	10.2	6.4
19	のむラップ・ファンド (普通型)	1.5	9.2	7.0
20	ニッセイ日経 2 2 5 インデックスファンド	0.3	16.0	13.3

【2018年9月末基準】

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	新光 U S - R E I T オープン	2.3	14.0	9.3
2	ダイワ J - R E I T オープン	1.1	8.5	6.2
3	東京海上・円資産バランスファンド	1.2	2.0	3.4
4	グローバル・ヘルスケア&バイオファンド	3.0	16.1	14.2
5	高金利先進国債券オープン (毎月分配型)	1.7	6.9	2.0
6	インデックスファンド 2 2 5	1.0	15.1	12.2
7	グローバル・ソブリン・オープン	1.7	6.5	2.7
8	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド	2.4	10.3	4.8
9	財産 3 分法ファンド (不動産・債権・株式)	1.5	7.8	5.6
10	ラサール・グローバル R E I T ファンド	2.1	13.2	8.3
11	日本好配当利回り株 (3 カ月決算型)	1.5	13.1	10.1
12	HSBC インド オープン	2.8	21.6	11.9
13	三井住友・米国ハイ・イールド債権ファンド (為替ノーヘッジ型)	2.6	9.0	6.3
14	のむラップ・ファンド (普通型)	1.5	8.5	6.8
15	ダイワ高格付カナダドル債オープン	1.8	9.2	-1.0
16	次世代米国代表株ファンド	2.2	15.6	15.9
17	野村インド債権ファンド (毎月分配型)	2.4	9.9	7.6
18	D I A M 世界好配当株オープン	1.8	12.5	7.1
19	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン	1.8	8.5	0.8
20	トレンド・アロケーション・オープン	1.6	4.9	2.7

※数値は過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません。